

特集 おもしろ研究・先生

Ⅶ

気象学の最先端 今年の猛暑は予知できたか？



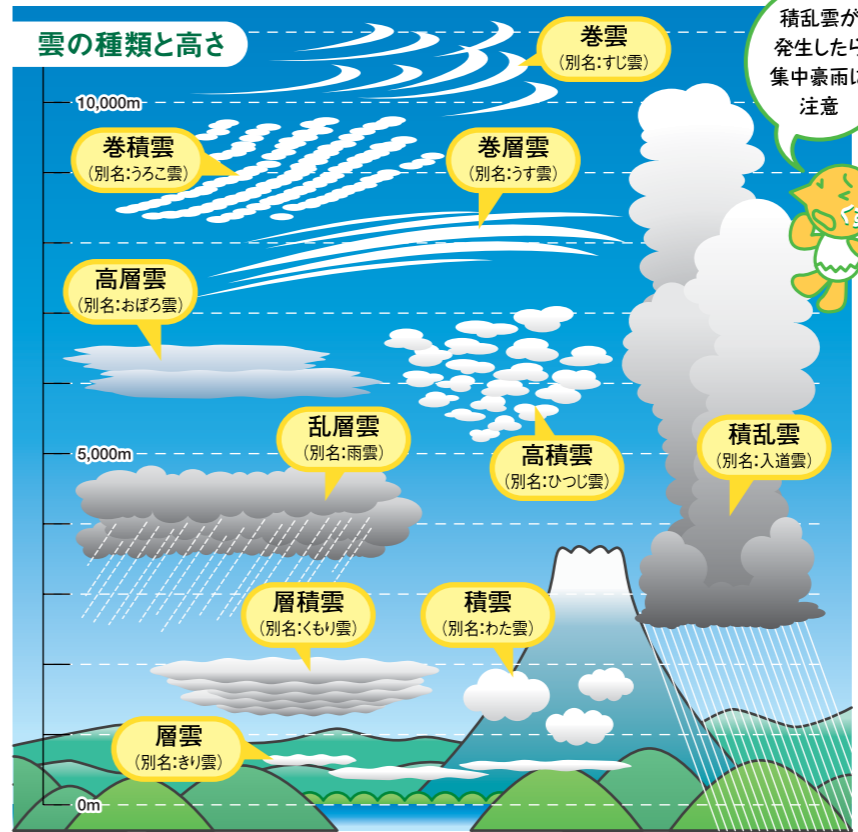
三重大学大学院生物資源学研究所・教授 立花 義裕 Tachibana, Yoshihiro [URL] <http://www.bio.mie-u.ac.jp/kankyo/shizen/lab1/>

生物資源学学部校舎付近で気象観測気球の放球の瞬間



異常気象の原因

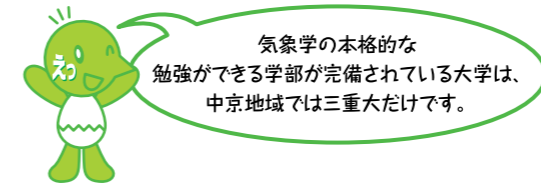
今年は世界各地で前例がないほどの異常な猛暑でした。どうしてこれほどの猛暑になったのでしょうか。「地球温暖化が原因?」いえいえ、二酸化炭素増加による温室効果とは直接は関係ありません。なんでもかんでも温暖化と短絡的に結びつけるようなエセ科学にはだまされなくてください。研究室では今年の猛暑の原因解明



気候変動メカニズム解明への挑戦

の研究に着手したところ、今年の夏は、地球規模の大気の流れが異常だったから猛暑だったのです。ではどうして異常な流れになったのでしょうか。私たちの仮説が正しいければ、この猛暑は半年前の冬に既にその予兆があったのです。前冬の異常気象が夏の異常気象に関係していたということです。

地球規模の異常気象は、大気の原因で起こることもありますが、大気に加え、海洋・雪氷・植生などが複雑に影響を及ぼしあって起こることがしばしばです。今年の夏の猛暑は数千キロメートルも遠く離れた亜熱帯の海洋が影響していると私たちはみえています。



気象学の本格的な勉強ができる学部が完備されている大学は、中京地域では三重大だけです。

気象に似た単語に気候があります。気候とは、大気に加え、海洋・陸水・植生・雪氷などが複雑に絡み合った地球の状態を指します。そして気候変動とは、その複雑に絡み合った状態の変動のことです。つまり気候変動の原因解明には、地球規模の異常気象のメカニズムを理解することが鍵となるのです。

今年の夏のような猛暑、あるいは冷夏、豪雪や暖冬、異常多雨や干ばつ、北極の海水の減少、地球温暖化。これらの地球規模での異常な「気候」がなぜ起こるのでしょうか?残念ながら、現在の最先端科学でも、これらの「なぜ?」に対する完全な答えをまだ得ておりません。これらの「なぜ?」を、解き明かすこと。それに挑んでいるのが、我が研究室です。